LIXIL
TOEX

取扱説明書

シングルシャッターS Fタイプ　手動タイプ

この取扱説明書の内容は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。

⚠警告

取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

⚠注意

取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

行なってはいけない内容です。

必ず実行していただく内容です。

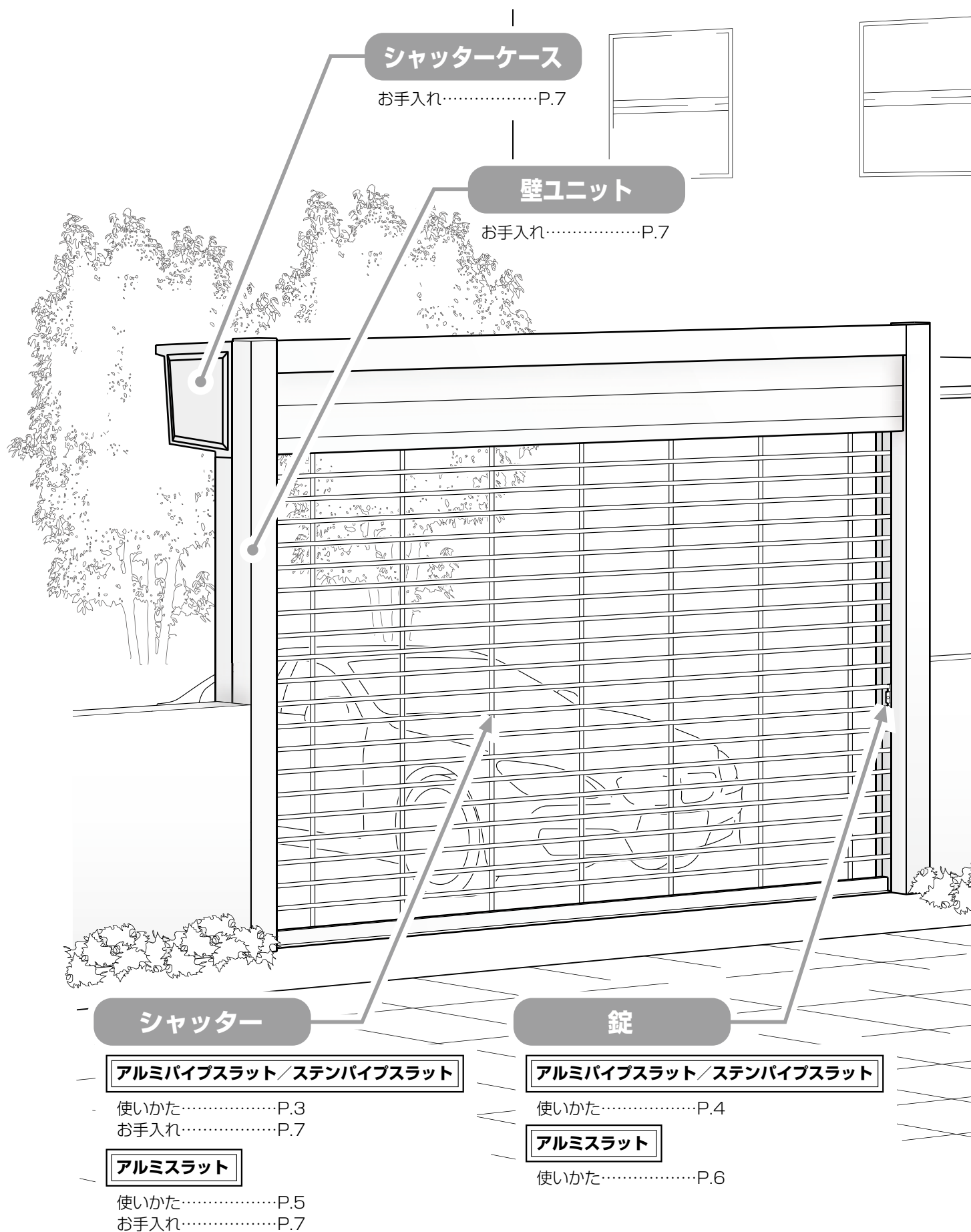
お願い
取扱いを誤った場合に、製品の損傷または故障のおそれがある内容を示しています。

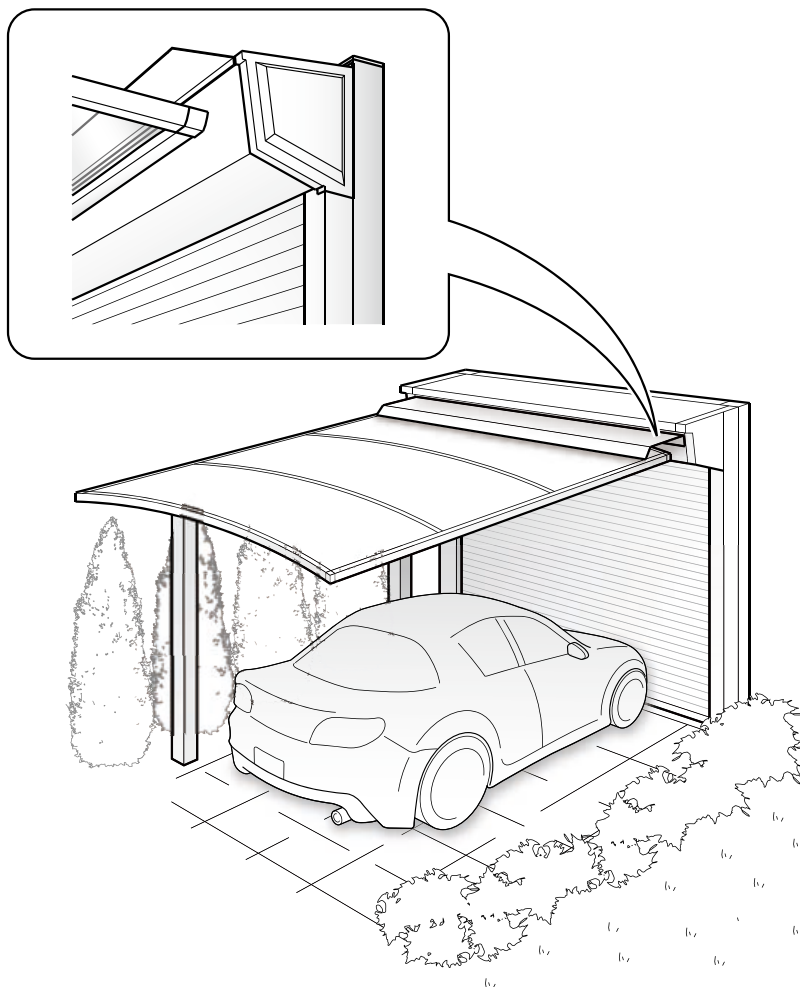
もくじ

ページ

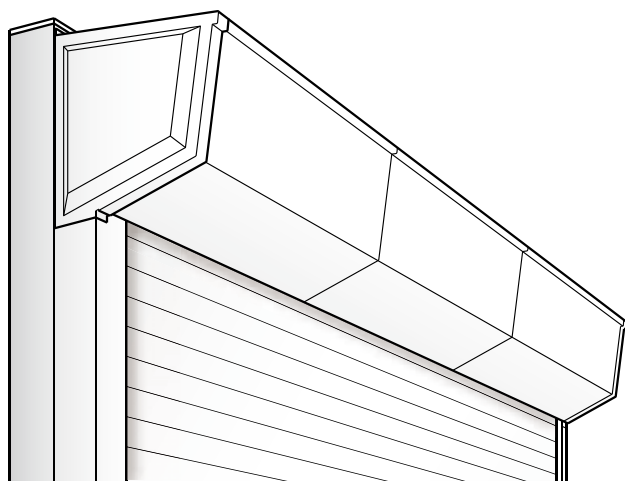
保証書付き

●製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになったあとは、たいせつに保存してください。
保証書は「お引き渡し日、販売店名」などの記入を必ず確かめてください。

安心・便利にお使いいただくために

オプション　シャッターひさし

オプションのシャッターひさしを取付ければシャッターケースとカーポートの隙間からの雨水の入り込みを防ぎます。
※シャッターとカーポートは、接していないため雨の吹き込みなどにより多少、雨水が入り込む場合があります。

メンテナンス性を考慮したシャッターケース

アルミ材を使用したシャッターケースです。
３分割にしているため、メンテナンス性を考慮しています。

使いかた

アルミパイプスラット／ステンパイプスラットをお買い上げの方

シャッターを開閉するときには…

⚠警告　シャッター

・シャッター開閉中は人や車の出入りを絶対おやめください。はさまれると危険です。
・子どもには、操作させないでください。はさまれると危険です。

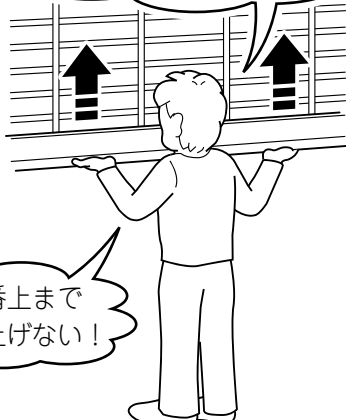
⚠注意　シャッター

・座板のフック穴に手を入れて操作しないでください。
・開閉速度が極端に速くならないよう、フック棒で調整し、乱暴な開閉操作はしないでください。座板が変形する場合があります。
・カギ穴に異物をいれたり、注油しないでください。カギが作動しなくなるおそれがあります。
・カギ穴が凍結した時は、溶けてから操作してください。解氷剤は使用しないでください。カギが作動しなくなるおそれがあります。

お願い

・開閉時に障害物がないことを確認してください。障害物とシャッターの両方が壊れるおそれがあります。
・開閉は、シャッター片側の端だけを持って操作しないでください。シャッターが片寄り作動不良の原因になります。

シャッター 開けかた、閉めかた

開ける操作

錠　解錠と施錠の仕方

お願い

・カギに刻印している番号を下記に控えてください。

カギ番号	

紛失時はこの番号で発注してください。カギ番号が不明の場合は、シリンダー錠ごと交換になります。

・カギを差したまま開閉操作をしないでください。カギが壊れるだけでなく、シャッターが動かなくなる場合があります。

・錠はシャッターの左右にあります。両方の錠を解錠・施錠してください。

閉める操作

アルミスラットをお買い上げの方

シャッターを開閉するときには…

⚠警告　シャッター

・シャッター開閉中は人や車の出入りを絶対おやめください。はさまれると危険です。
・子どもには、操作させないでください。はさまれると危険です。

⚠注意　シャッター

・座板のフック穴に手を入れて操作しないでください。
・開閉速度が極端に速くならないよう、フック棒で調整し、乱暴な開閉操作はしないでください。座板が変形する場合があります。
・カギ穴に異物をいれたり、注油しないでください。カギが作動しなくなるおそれがあります。
・カギ穴が凍結した時は、溶けてから操作してください。解氷剤は使用しないでください。カギが作動しなくなるおそれがあります。

お願い

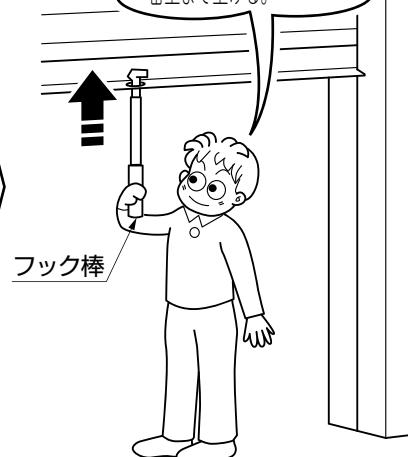
・開閉時に障害物がないことを確認してください。障害物とシャッターの両方が壊れるおそれがあります。
・開閉は、シャッター片側の端だけを持って操作しないでください。シャッターが片寄り作動不良の原因になります。

シャッター 開けかた、閉めかた

開ける操作

錠　解錠と施錠の仕方

道路側

シャッターが完全に閉まった状態で操作してください。

くぼみ
カギ
溝
施錠
解錠
道路側

お願い

- カギに刻印している番号を下記に控えてください。

カギ番号	

紛失時はこの番号で発注してください。
カギ番号が不明の場合は、シリンダー錠ごと交換になります。

- カギを差したまま開閉操作をしないでください。カギが壊れるだけでなく、シャッターが動かなくなる場合があります。

家側

シャッターが完全に閉まった状態で操作してください。

ツマミ
連結バー
解錠
施錠
家側
ツマミが水平になるまで回す

お願い

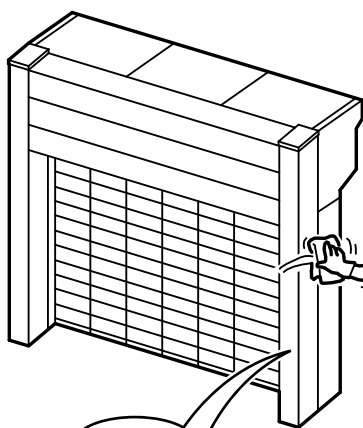
- 「施錠」「解錠」ともツマミが水平になるまで回さないと、道路側からの施錠・解錠ができなくなります。
- 連結バーを持ってシャッターを開閉しないでください。連結バーが変形し施錠・解錠ができなくなります。
- カギには方向性があります。カギ穴のくぼみとカギの溝を同じ側に向けて差し込んでください。カギを逆にすると差し込めません。

閉める操作

お手入れ

シャッターケース 雪下ろし

お願い 積雪が20cmを越える前に雪下ろしをしてください。ケースのたわみによりシャッターにキズがついたりシャッターケースが変形する場合があります。

壁ユニット お手入れ：定期的

汚れがひどい場合…
薄めた中性洗剤で
汚れを落とす→
→水洗い→乾拭き

お願い シンナー、ベンジンなどの有機溶剤は使わないでください。

シャッター お手入れ

ステンパイプスラットをお買い上げの方

［1年あたりのお掃除回数］

湾岸地帯：10〜20回
工業地帯：6〜10回
市街地　：　4〜8回
田園地帯：　2〜4回

お願い もらいサビがひどい場合、市販のステンレス用サビ落しクリーナー使用してください。

アルミパイプスラット／アルミスラットをお買い上げの方

［1年あたりのお掃除回数］

湾岸地帯：1〜4回
工業地帯：1〜3回
市街地　：0.5〜2回
田園地帯：0.5〜1回

お願い 表面の砂ボコリなどは定期的に水洗いしてください。表面キズの原因になります。

補足 表面に発生した白い粉状のスジは水拭き後、柔らかい布で乾拭きするとキレイになります。

安全上のご注意

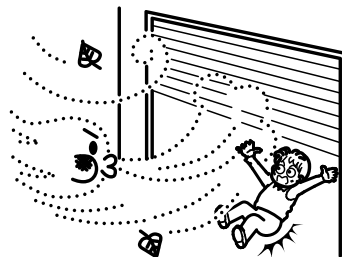
⚠注意 シャッターケース

必ず実行

●積雪が20cmを越える前に雪下ろし！
落雪によりケガをするおそれがあります。
また、ケースがたわんで開閉に支障をきたすことがあります。

⚠注意 シャッター

禁止

●強風時、無理な開閉をしない！
製品の故障、急に強風が吹き込み転倒など、ケガをするおそれがあります。

必ず実行

●凍結した場合は必ず溶けてから操作！
製品の故障や異音発生の原因となります。

⚠警告 シャッター

禁止

●開閉中の出入り禁止！
シャッターにはさまれ、重大な事故になるおそれがあります。

●ぶら下がり、手掛け、足掛け禁止！
誤ってシャッターに巻き込まるなど、重大な事故になるおそれがあります。

●シャッターにハシゴなどを立て掛けて作業しないでください。
シャッターが動いて転落するおそれがあります。

●開閉位置でお子様を遊ばせない！
誤ってシャッターを開閉しはさまれるなど、重大な事故になるおそれがあります。

●お子様には操作させないでください。
シャッターにはさまれ重大な事故になるおそれがあります。

●座板のフック穴に手を入れて操作しないでください。
手にケガをするおそれがあります。

必ず実行

●開閉位置に人や物がないことを確認！
シャッターにはさまれ、重大な事故になるおそれがあります。

●閉めたときは必ず施錠！
お子様が操作し、はさまれるおそれがあります。

修理と保証

（1）保証書について

●保証書は必ず施工店名、施工日などの所定事項を確かめて施工店からお受け取りください。
●保証書記載内容を確認のうえ、大切に保管してください。

（2）保証期間

お願い

●保証期間内でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

施工完了日（お引渡し日）▼	1年▼	2年▼
電装部品	無料	有料（1年以降）
電装部品以外	無料（2年まで）	有料

（3）修理について

●製品に異常が生じたときは使用を中止し、下記のシャッター専用フリーダイヤルまたはお買い上げの販売店（工事店）にご連絡ください。
●このフリーダイヤルはシャッター開閉不具合の修理専門です。その他の修理に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店（工事店）または、「お客さま相談センター」にお問い合わせください。
●お客様自身による修理は、危険ですのでおやめください。
●修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。

故障における修理連絡先

商品の修理・故障に年中無休・24 時間対応

フルタイムサービス
FTS 0120-3030-17

故障の状況	できるだけ詳しく	ご氏名	
製品名		ご住所	
施工日	年　月　日	電話番号	
施工店名		その他	

●消耗品は寿命があり、有償保証となります。

（4）点検および修理料金のしくみ

●修理料金は技術料、部品代、出張料などで構成されています。
・技術料は、点検および故障個所の修理および部品交換、調整などの作業にかかる費用です。
・部品代は、修理に使用した部品代です。
・出張料は、修理士を派遣する場合の費用です。なお修理により交換した部品、製品は、特段のお申し出がない場合は当社にて引き取らせていただきます。

（5）交換用部品について

●お客様ご自身でお取替えいただける部品については、ホームページよりご注文いただけます。
リクシルパーツショップ　**http://partsshop.lixil.co.jp/shop/**
掲載のない部品につきましては、お求めの取扱い店又は当社お客さま相談センター 0120-126-001 にご連絡ください。

美しく保つために

（1）アルミ製品

●アルミスラットは開閉によりスラット表面のクリア塗装がはがれ、白い粉がでますので濡れた布などで汚れを拭き取った後、乾いた布で拭いてください。

（2）ステンレスパイプシャッターおよびステンレス製品

●ステンレス材はさびにくい材料ですが、絶対さびない材料ではありません。しかも、通常ステンレス材は素地のまま（塗装なし）で使用しますので、清掃も頻繁に必要となります。
●初期のさびであれば薄めた中性洗剤で汚れを落とし、水洗い後、乾拭きしてください。
●さびがひどい場合はステンレス用さび落としの専用クリーナーを購入してください。また、専用クリーナーをご使用の際は注意書きをよく読んでからご使用ください。

〈さびについて〉

●ステンレスが腐食に対して強いのは、表面に独特の保護皮膜が形成されているからです。この皮膜は空気中の酸素が触れている間は優れた耐食性を示す性質を持っています。そのため、ステンレスの表面が汚れてくると、酸素との接触が妨げられるのでさびが発生することがあります。したがってステンレスは決して「さびない」ものではなく、むしろ「さびにくい」金属と言えます。
●さびが発生するのは、例えば次のような場合です。
・塩素系の洗剤でハウスクリーニングを行った際に、洗剤がステンレス部品に付着した場合
・海岸沿いなどの住環境において、塩分が付着する場合（注意）
・ばい煙、塩酸、排ガス、温泉蒸気、火山の噴煙などが付着した場合
●その他、ステンレスがさびる要因として、「もらいさび」と言われるものがあります。「もらいさび」とは、例えば鉄くぎのさびが表面に付着したり、ステンレス表面に付着した土埃の中の微細な鉄粉が雨水などによってさびてこびりついたりすることであり、あたかもステンレス自身がさびたように見える現象です。
●さびがひどい場合はステンレス用さび落としの専用クリーナーを購入してください。この場合、表面にこすりキズつくことは避けられません。「もらいさび」が落ちない場合は、さびが進行してステンレス自身にさびが生じたものと考えられます。
●いったん発生したさびは落とすことが難しいので、ステンレスの汚れに注意をして日頃から中性洗剤でこまめにお手入れしてください。さびの発生を防ぐことができます。

（注意）海岸地帯、工業地域などの環境では比較的早くさびが発生し、台風通過時には内陸部まで海岸地帯同様の塩害が発生します。このような場合には、さびが発生する前にこまめにお手入れ（清掃）する必要があります。

（3）お手入れの目安

●右表は1年あたりの清掃回数の目安となります。

材質＼環境	海岸地帯	工業地帯	市街地	田園地帯
ステンレス（素地）	10～20	6～10	4～8	2～4
アルミ（クリア塗装）	1～4	1～3	0.5～2	0.5～1

仕様

■使用条件
●周囲温度：－10℃～＋40℃（凍結状態は除きます）
●周囲湿度：RH85%以下
●環境条件：沿岸部、化学工場などの腐食性環境・粉塵発生環境を除きます。
※正常な使用方法でもシャッターカーテンやガイドレールなどの接触部分では磨耗、音、サビが発生する場合があります。1日の開閉回数が多い場合は、上記の現象が発生しやすくなります（通常シャッターは1日あたり1～2往復で設定されています）。

設計耐用年数と設計耐用回数

●当商品の設計耐用年数は10年、設計耐用回数は5千回です（年数・回数どちらか早い方）。ただし、設計耐用年数・設計耐用回数は保証値ではありません。「設計耐用年数・設計耐用回数」は、お客様が適切な維持・管理とお手入れを行ない、かつ保守点検専門技術者による定期的なメンテナンスが実施された場合の数値です。なお、沿岸部、温泉地帯、化学・薬品工場などの腐食性環境や、大気中の砂塵、ばい煙などが商品に付着する場所、および高温、低温、多湿などの使用環境下では、設計耐用年数および設計耐用回数についての記載数値を満足することは出来ません。また、使用頻度、点検・お手入れなどにより記載数値を満足しないことがあります。

シングルシャッターS　Fタイプ　手動タイプ　保証書

製造No. （商品名シールNo.）		
保証期間	対象部品	期間（お引渡し日より）
	本　体	2ヶ年
	但し電装部品	1ヶ年
お引渡し日	年　月　日	
お客様	ご住所	
	お名前　様	
	電　話　（　）	

本書はお引渡し日から左記期間中故障が発生した場合には、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記記載内容をご参照ください。

※お引渡し日、お客様名、施工店名及び製造No.が不明の場合は、保証しかねますので施工店に必要事項の記入をご依頼ください。又本書は再発行致しませんので大切に保管してください。

施工店	住所・店名　印 電話　（　）

株式会社 LIXIL

〒136-8535 東京都江東区大島2-1-1

1. 保証者
株式会社LIXIL

2. 保証の対象者
当該商品の所有者

3. 対象商品
LIXILブランドで発売しているエクステリア商品、ガーデンリビング ファニチャー&グッズ商品

4. 保証内容
取扱い説明書・表示ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に発生した不具合については、下記に例示する免責事項を除き、無料修理いたします。

5. 保証期間
当該商品の施工完了日（お引き渡し日※）から起算して2年間。（電装部品及び木製部品については1年間）ただし、施工を伴わない商品及びガーデンリビング ファニチャー&グッズ商品についてはご購入された日から起算して1年間。
※注）新築分譲住宅の場合は、建築主さまへの引渡し日。

6. 品質保証の免責事項
保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。

①当社の手配によらない第三者の加工、組立て、施工（基礎工事、取付工事、シーリング工事、電気工事など）、管理、メンテナンスなどの不備に起因する不具合（海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色、腐食、基礎寸法や取り付け寸法違いなどによる性能低下、工事中の養生不良による変色や腐食など）。

②取扱い説明書や表示ラベル、カタログなどに記載された使用方法からの逸脱及び適切な維持管理を行わなかったことなどに起因する不具合（例えば、雪下ろしや操作上の注意などの注意シール内容の不励行による破損など）。

③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする地域や場所に取り付けられた場合の不具合（例えば、積雪強度、耐風圧強度、寒冷地での作動性や凍結に起因する不具合など）。

④建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合。

⑤商品又は部品の経年変化（使用に伴う消耗・摩耗など。木製品のささくれ、ヒビ割れ、変色、ネジ、ボルトの緩みや釘の浮きなど）や経年劣化（樹脂部分の変質・変色など）またはこれらに伴う不具合、および電池・電球などの消耗品の損傷や故障。

⑥商品又は部品の材料特性に伴う現象（例えば、木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、節抜け、樹液のにじみ出しなど）。

⑦自然現象や住環境に起因する結露などに起因する不具合（例えば、結露による凍結、サビ、カビ発生など）。

⑧環境が特に悪い地域又は場所に取り付けられたことに起因する腐食及び不具合（例えば、海岸地帯での塩害や大気中の砂塵・煤煙・金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車や給湯器などの排気ガスが付着して起きる腐食や塗装はく離、異常な高温・低温・多湿による不具合、軟弱地盤による沈下や、倒壊など）。

⑨天災その他の不可抗力（例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など）により商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合。

⑩実用化されている技術では予測不可能な現象またはこれが原因で生じた不具合。

⑪犬、猫、鳥、ねずみ、虫などの小動物の害、またはつるや根などの植物の害、またはそれに関する不具合。

⑫所有者様や第三者による不当な修理や改造（必要部品の取り外し含む）に起因する不具合。

⑬本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合。

⑭犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合および盗難。

※保証期間経過後の修理・交換などは有料といたします。
※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、最寄りの当社支店・営業所・お客さま相談センターにお問い合わせください。
※本商品保証は日本国内においてのみ有効です。
（This warranty is availed only in Japan.）

※当社の商品に関し、上記に記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。
※保証期間中に故障・損傷などの不具合が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店に修理を依頼してください。当社支店・営業所、お客さま相談センターにてもご相談を承ります。

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CADデータなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

会社や商品についての情報のご確認は、LIXILオフィシャルサイトまで

http://www.lixil.co.jp/

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで
受付時間/月～金 9:00～18:00　土・日・祝日 9:00～17:00（ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く）

TEL. 0120-126-001　FAX.03-3638-8447

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで
受付時間/月～金 9:00～18:00（祝日、年末年始、夏期休暇等を除く）

TEL. 0120-413-433　FAX. 0120-413-436

http://www.lixil.co.jp/support/

JZZ626337A
201403A_1039
201404B_1039

※当社は、当社商品のユーザー様及び流通業者様等の皆様の個人情報を商品納入や商品保証書を通じて取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンスその他の目的のために利用致します。当社の個人情報の取り扱いについて詳しくは当社ホームページの『プライバシーポリシー』(http://www.lixil.co.jp/privacy/) をご覧下さい。